



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月27日

上場会社名 日本精線株式会社
 コード番号 5659 URL <https://www.n-seisen.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新貝 元

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長澤 修一

TEL 06-6222-5432

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	34,108	2.3	2,380	23.5	2,602	30.1	1,825	30.8
2020年3月期	34,910	9.9	1,926	45.8	1,999	45.6	1,395	47.1

(注) 包括利益 2021年3月期 2,049百万円 (55.8%) 2020年3月期 1,315百万円 (52.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	297.66		5.7	5.8	7.0
2020年3月期	227.48		4.6	4.7	5.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	46,071	32,974	70.7	5,309.46
2020年3月期	43,315	31,446	71.7	5,063.77

(参考) 自己資本 2021年3月期 32,564百万円 2020年3月期 31,058百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,965	1,787	702	13,299
2020年3月期	2,814	2,244	335	11,766

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		35.00		45.00	80.00	490	35.2	1.6
2021年3月期		40.00		70.00	110.00	674	37.0	2.1
2022年3月期(予想)		80.00		80.00	160.00		40.1	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	29.9	1,900	111.9	1,900	81.9	1,330	81.6	216.85
通期	39,000	14.3	3,500	47.1	3,500	34.5	2,450	34.2	399.46

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	6,492,293 株	2020年3月期	6,492,293 株
期末自己株式数	2021年3月期	359,054 株	2020年3月期	358,747 株
期中平均株式数	2021年3月期	6,133,397 株	2020年3月期	6,133,687 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	31,490	1.6	2,200	33.8	2,347	41.7	1,630	42.5
2020年3月期	32,009	11.2	1,644	48.9	1,656	49.2	1,144	50.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	265.85	
2020年3月期	186.55	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	41,894	29,812	71.2	4,860.89
2020年3月期	39,280	28,646	72.9	4,670.46

(参考) 自己資本 2021年3月期 29,812百万円 2020年3月期 28,646百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID - 19）の影響を受け大幅に落ち込みましたが、各国政府の経済対策の効果が奏功し、夏場以降に自動車をはじめとする一部の製造業の生産がボトムから持ち直してきました。さらに、早期にコロナ禍から回復した中国において設備投資が引き続き堅調であることに加え、バイデン政権による大規模な経済対策の成立やコロナワクチン接種開始によって米国の社会経済活動も回復してきました。但し、国内における新型コロナ変異株の影響深刻化や足元の車載用の半導体不足が自動車生産に影響するリスクなど、引き続き先行きへの不透明感が残っています。

当社及び連結子会社（以下「当社グループ」という。）の経営環境においても、当社製品に対する需要の大幅減の状況から脱し、自動車や半導体などに関連した受注が回復しました。ステンレス鋼線の月平均販売数量は、上半期に2,513トンと大きく落ち込みましたが、下半期は3,268トンまで持ち直してきました。また、販売が好調に転じた超精密ガスフィルター（NASclean®）によって金属繊維は増収となりました。しかし、上半期の販売不振をカバーするには至らず、通期の売上高は341億8百万円（前期比2.3%減）となりました。損益については、高機能・独自製品の売上比率が相対的に高い水準で推移したことに加え、ステンレス鋼線の販売数量の回復による粗利増加及び操業度損圧縮の効果が寄与しました。営業利益23億80百万円（同23.5%増）、経常利益26億2百万円（同30.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益18億25百万円（同30.8%増）となりました。

製品別の売上状況は、次のとおりであります。

[ステンレス鋼線]

上半期については、国内の建材用途や自動車関連用途の鋳造用材やばね用材などステンレス鋼線全体としてはコロナ禍の影響により販売数量が大きく減少しました。下半期は自動車関連の受注が急回復したほか、巣籠り需要による家電用途など幅広いアイテムの受注が回復しました。また、1～3月平均のLMEニッケル価格がポンド当たり8.0ドル（10～12月平均に比してポンド当たり0.77ドル上昇）となり、駆け込み需要も生じたものと捉えています。一方、太陽光発電パネルや電子部品の製造プロセスで使用されるスクリーン印刷向け極細線が底堅く推移するなど、高機能・独自製品における疫禍の影響は限定的に止まりました。結果として、通期におけるステンレス鋼線全体の月平均販売数量が2,891トン（前期比11.2%減）となりましたが、通期の売上高は、売上高280億51百万円（同4.5%減）と減収幅を抑制できました。

海外現地法人であるTHAI SEISEN CO., LTD. および大同不銹鋼（大連）有限公司についても、ステンレス鋼線の販売数量の減少を強いられ、減収となりました。

[金属繊維（ナスロン）]

ポリエステルフィルムや炭素繊維に関連した設備投資が延期され国内外とも低調に推移したことや、中国国内の化合繊維向け需要減少が響き、ナスロン®フィルターの販売は低調に止まりました。

半導体関連業界向け超精密ガスフィルター（NASclean®）については、課題であった在庫調整の解消も確認でき、当社製品に対する需要も好転しました。背景には、第5世代移動通信システム（5G）の立ち上がりや、リモートワークなどの普及に伴いデータセンターに関連した半導体需要が堅調であったため、在庫調整を経てDRAM価格が上昇し半導体製造装置の投資が再開したことが挙げられます。結果として、通期では売上高が60億57百万円（前期比9.5%増）となりました。

海外現地法人である耐素龍精密濾機（常熟）有限公司についても、中国国内向けの化合繊維向け需要が低迷し売上高は前期比減収となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は460億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億56百万円増加しました。流動資産は現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ26億1百万円増加しました。固定資産は有形固定資産が増加したことなどにより、1億54百万円増加しました。

負債は130億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億28百万円増加しました。流動負債は支払手形及び買掛金や未払法人税等の増加などにより、前連結会計年度末に比べ12億43百万円増加しました。固定負債は退職給付に係る負債が増加したものの長期借入金が増加したことなどにより15百万円減少しました。

純資産は利益剰余金が増加したことなどにより329億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億27百万円増加しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は132億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億33百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは39億65百万円の収入となり、前期に比べ11億50百万円増加しました。これは法人税等の支払額が減少したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは17億87百万円の支出となり、前期に比べ4億57百万円減少しました。これは有形固定資産の取得による支出が減少したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより7億2百万円の支出となりました。

(キャッシュ・フロー指標)

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりです。

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	67.4	71.5	71.7	70.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	72.0	47.4	41.9	47.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.2	0.2	0.3	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	359.8	326.1	379.8	769.7

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により計算しております。

3. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後については、新型コロナウイルスのワクチンの普及には時間を要するため、コロナ禍の収束時期が見通せません。また、コロナ対応で傷んだ各国の財政問題、米中や中東などの地政学的リスク、多発する自然災害など、懸念材料を認識しています。当社の高機能・独自製品は、太陽光パネル製造で必要となる極細線やIT社会を支える半導体の製造装置に組み込まれる超精密ガスフィルター (NASclean®) など、サステナブルな社会において底堅い需要があると考えております。通期連結業績予想については、車載用半導体不足による自動車減産への影響度には留意が必要ですが、おおむね堅調な業績推移を予想しております。

当社グループは、今年度よりスタートする『中期経営計画 (NSR23) 』（最終年度2024年3月期）を掲げ、①日本精線リニューアル計画の継続・推進 ②新製品開発と新市場開拓を通じてサステナブル社会に貢献 ③水素を巡る新事業の探索 ④コーポレートガバナンスとコンプライアンスの充実 を基本方針として企業価値向上に努めてまいります。

なお、次期の業績は次のとおりと予想しております。

	売上高	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2022年3月期 (予想)	390億円	35億円	24億50百万円
2021年3月期 (実績)	341億8百万円	26億2百万円	18億25百万円

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準について、期間比較可能性を考慮し日本基準を適用しております。

なお、国際財務報告基準 (IFRS) の適用につきましては、今後の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,980	13,776
受取手形及び売掛金	7,769	8,210
電子記録債権	-	537
商品及び製品	2,090	1,856
仕掛品	3,328	3,457
原材料及び貯蔵品	1,709	1,618
その他	151	174
流動資産合計	27,029	29,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,140	13,298
減価償却累計額	△8,491	△8,834
建物及び構築物（純額）	4,649	4,464
機械装置及び運搬具	29,657	31,042
減価償却累計額	△23,799	△24,639
機械装置及び運搬具（純額）	5,857	6,402
土地	1,628	1,630
リース資産	14	18
減価償却累計額	△5	△8
リース資産（純額）	9	10
建設仮勘定	1,290	959
その他	2,284	2,473
減価償却累計額	△1,732	△1,873
その他（純額）	551	599
有形固定資産合計	13,986	14,067
無形固定資産		
ソフトウェア	229	203
ソフトウェア仮勘定	50	20
その他	39	32
無形固定資産合計	319	255
投資その他の資産		
投資有価証券	245	326
繰延税金資産	1,505	1,583
その他	228	206
投資その他の資産合計	1,979	2,116
固定資産合計	16,285	16,439
資産合計	43,315	46,071

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,972	5,494
短期借入金	437	440
リース債務	2	3
未払法人税等	64	700
未払消費税等	224	165
賞与引当金	549	580
役員賞与引当金	23	26
その他	759	866
流動負債合計	7,033	8,277
固定負債		
長期借入金	372	194
リース債務	7	7
役員退職慰労引当金	47	63
環境対策引当金	1	0
退職給付に係る負債	4,394	4,544
その他	12	9
固定負債合計	4,835	4,820
負債合計	11,868	13,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,442	5,442
利益剰余金	21,575	22,880
自己株式	△847	△849
株主資本合計	31,170	32,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△33	25
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	115	174
退職給付に係る調整累計額	△193	△109
その他の包括利益累計額合計	△111	90
非支配株主持分	387	409
純資産合計	31,446	32,974
負債純資産合計	43,315	46,071

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	34,910	34,108
売上原価	29,691	28,589
売上総利益	5,218	5,518
販売費及び一般管理費	3,291	3,138
営業利益	1,926	2,380
営業外収益		
受取利息	11	7
受取配当金	13	12
仕入割引	17	15
受取補償金	24	36
為替差益	41	30
雇用調整助成金	-	128
その他	24	38
営業外収益合計	132	269
営業外費用		
支払利息	6	5
売上割引	18	16
支払補償費	16	7
固定資産除却損	13	9
環境対策引当金繰入額	1	-
その他	2	7
営業外費用合計	59	47
経常利益	1,999	2,602
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	-	5
特別損失合計	-	5
税金等調整前当期純利益	2,000	2,597
法人税、住民税及び事業税	537	891
法人税等調整額	35	△137
法人税等合計	572	754
当期純利益	1,427	1,842
非支配株主に帰属する当期純利益	31	16
親会社株主に帰属する当期純利益	1,395	1,825

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,427	1,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	58
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△103	64
退職給付に係る調整額	52	84
その他の包括利益合計	△111	207
包括利益	1,315	2,049
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,292	2,027
非支配株主に係る包括利益	22	21

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	5,442	20,663	△847	30,259
当期変動額					
剰余金の配当			△582		△582
親会社株主に帰属する当期純利益			1,395		1,395
自己株式の取得				△0	△0
連結範囲の変動			99		99
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	911	△0	911
当期末残高	5,000	5,442	21,575	△847	31,170

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	27	△0	169	△245	△49	257	30,467
当期変動額							
剰余金の配当							△582
親会社株主に帰属する当期純利益							1,395
自己株式の取得							△0
連結範囲の変動							99
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△60	0	△54	52	△62	130	68
当期変動額合計	△60	0	△54	52	△62	130	979
当期末残高	△33	0	115	△193	△111	387	31,446

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	5,442	21,575	△847	31,170
当期変動額					
剰余金の配当			△521		△521
親会社株主に帰属する当期純利益			1,825		1,825
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	1,304	△1	1,303
当期末残高	5,000	5,442	22,880	△849	32,473

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△33	0	115	△193	△111	387	31,446
当期変動額							
剰余金の配当							△521
親会社株主に帰属する当期純利益							1,825
自己株式の取得							△1
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	58	△0	59	84	202	21	224
当期変動額合計	58	△0	59	84	202	21	1,527
当期末残高	25	△0	174	△109	90	409	32,974

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,000	2,597
減価償却費	1,383	1,531
ゴルフ会員権評価損	-	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	149	267
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	15
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△122	30
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6	3
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
受取利息及び受取配当金	△24	△20
支払利息	6	5
為替差損益 (△は益)	△41	△33
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	-
有形固定資産除却損	13	9
売上債権の増減額 (△は増加)	317	△983
前受金の増減額 (△は減少)	△7	25
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△246	215
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4	2
仕入債務の増減額 (△は減少)	245	511
未払消費税等の増減額 (△は減少)	203	△58
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△124	100
その他	△1	0
小計	3,745	4,224
利息及び配当金の受取額	24	20
利息の支払額	△7	△5
法人税等の支払額	△948	△274
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,814	3,965
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△180	△477
定期預金の払戻による収入	100	217
有形固定資産の取得による支出	△2,093	△1,480
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△69	△51
その他	△2	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,244	△1,787
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10	-
長期借入れによる収入	550	-
長期借入金の返済による支出	△290	△178
リース債務の返済による支出	△2	△3
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△1
配当金の支払額	△581	△520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△335	△702
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	58
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	243	1,533
現金及び現金同等物の期首残高	11,233	11,766
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	289	-
現金及び現金同等物の期末残高	11,766	13,299

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会および重要事項を審議する経営会議において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に伸線加工事業であるステンレス鋼線・金属繊維を製造販売しており、国内においては当社が、海外においては当社及び連結子会社が担当しており、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製造・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「タイ」、「中国・韓国」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

セグメント間の売上高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	タイ	中国・韓国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,891	2,117	901	34,910	—	34,910
セグメント間の内部売上高又は 振替高	118	1,970	199	2,288	△2,288	—
計	32,009	4,087	1,101	37,198	△2,288	34,910
セグメント利益	1,703	170	119	1,994	△67	1,926
セグメント資産	37,786	4,659	1,194	43,639	△324	43,315
その他の項目						
減価償却費	1,169	192	22	1,383	△0	1,383
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	2,164	251	102	2,517	△3	2,514

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	タイ	中国・韓国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,362	1,964	782	34,108	—	34,108
セグメント間の内部売上高又は 振替高	127	1,613	160	1,901	△1,901	—
計	31,490	3,577	942	36,010	△1,901	34,108
セグメント利益	2,256	152	37	2,447	△66	2,380
セグメント資産	40,369	4,758	1,236	46,364	△293	46,071
その他の項目						
減価償却費	1,298	203	30	1,532	△1	1,531
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	2,782	73	19	2,875	△0	2,874

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△13	△17
全社費用※	△54	△49
合計	△67	△66

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2)セグメント資産

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△334	△302
全社資産※	10	9
合計	△324	△293

※ 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社資産であります。

(3)その他の項目

①減価償却費の調整額（前連結会計年度及び当連結会計年度）は、親会社本社資産の減価償却費であります。

②有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	5,063.77円	1株当たり純資産額	5,309.46円
1株当たり当期純利益	227.48円	1株当たり当期純利益	297.66円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,395	1,825
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,395	1,825
期中平均株式数(千株)	6,133	6,133

(重要な後発事象)

該当事項はありません。